



2022-2023
国際ロータリーテーマ



イマジン
ロータリー

Rotary

ジェニファー・E. ジョーンズ

2022～2023年度 標語 諫早西ロータリークラブ
「平和な未来を想像し、行動しよう。」 会長 川野 弘茂



第1776例会 2023年 4 月 5 日例会記録 NO.34 天候 雨

【本 日】会員数 55名 出席 43名 欠席 4名 出席率 92.46%
【3/29】会員数 55名 出席 51名 欠席 1名 (MU 9名) 免除 3名 出席率 98.08%

〈 花 見 例 会 〉

会長の時間



川野 弘茂 会長

みなさんこんにちは、本日は花見例会となっております。

花見といえば桜の花見をさすのは、平安時代より桜が花の代名詞になっているからです。桜の名の由来ですが、「桜」の「さ」は早苗などと同じように稲や田の神様をさし、「くら」は神様の座る場所という意味の説があります。桜の全般的な花言葉は、「精神美」「優美な女性」「純潔」です。「精神美」は、桜が日本の国花という位置づけから、日本国、そして日本人の品格を表すシンボルとして、美しい言葉です。

桜の種類ですが、①桜は約10種類の実種をもとに、②それらの交配種で100種以上が野生化し(このような野生種、自生種を「山桜」といいます)、「山桜(ヤマザクラ)」は、野生種のため樹によって見た目が大きく異なることもあります。花言葉も「あなたに微笑む」、「淡白」と、日本古来の桜らしく控えめな意味の言葉です。③さらに人の手で栽培されたものが300種以上もあります(このような栽培品種、園芸品種を「里桜」といいます)。また、「八重桜」は里桜の八重咲きの品種の総称です。花びらが幾重にも重なって咲く桜の総称である「八重桜(ヤエザクラ)」の花言葉には「豊かな教養」、「おしとやか」などがあります。「枝垂桜(シダレザクラ)」は、枝が垂れる桜の総称で、花言葉は「優美」です。「ソメイヨシノ(染井吉野)」は、言わずと知れた日本における桜の代表的品種です。江戸末期・明治初期頃から栽培されており、オオシマザクラとエドヒガンを交配させて品種改良されたといわれています。5枚の花弁で咲き始めは淡い赤色、満開になると白色に近い色になります。日本で栽培されているソメイヨシノは挿し木や接ぎ木などで繁殖されたため、一斉に開花するという特徴があります。ソメイヨシノの開花を「桜前線」の基準にしています。江戸時代になると、春の行楽として花見が庶民の間にも広がり、酒を酌み交わす花見になっていきました。快晴のもと気持ちのいい日光を浴びて、桜を楽しみましょう。

幹事報告

例会変更及び休会等なし

会 長／川野 弘茂 幹 事／永井 栄次 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／毎熊 正太郎・坂本 伸二・宇土 久
HP/<https://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

😊 スマイルボックス 😊

川野 弘茂君：桜の花がきれいですね。

吉田健一郎君：本日は、桜を見ることが出来ず残念でした。
濱下会員、季節にあった差し入れありがとうございました。

長田 篤史君：来週から新茶が始まります。今年も順調に生育しています。おいしいお茶をがんばって作ります。

本日の合計 (4/5)	累 計 額
¥4,000	¥1,026,250

感染症対策に万全を期し、酒井正人 RI 会長代理を迎え対面式で開催。27日の親睦ゴルフ大会も含めれば、3日間で1,600人を超える参加を得た、熱気あふれる大会でした。

地区のテーマ「『想像』して『創造』しよう…ロータリーで未来を！」の下、2日目は池上彰氏の記念講演「ニュースから世界を見る」を聴講。激動する世界情勢を学び、ロータリーの未来をイマジンする好機となりました。RI 会長代理歓迎晩餐会、地元の名所を巡るエクスカージョンなども盛り上がり、会員相互の懇親を図ることができました。

ロータリーの友 3月号

『2022-2023 年度地区大会略報Ⅳ』より



第 2740 地区

2022年11月25～26日
佐賀市文化会館ほか
ホスト 佐賀RC



上村 春甫ガバナー

ロータリーの友 3月号 『NEW GENERATION』より

成長させてくれる場所

インターアクター 服部 夏子

私には、かなえたい夢があります。原点は私が6歳の時に起きた東日本大震災です。当時、東京に住んでいた私は、経験したことのない大きな揺れや、周囲の大人のいつもと違う様子に、幼いながらとても不安になりました。成長し、あの時の状況を理解できるようになるに従い、人々が安心して暮らせる街づくりがしたいという思いが、夢へと変わっていきました。

今、高等専門学校の環境都市工学科で、夢に向かって勉学に励んでいます。目標実現のためには、多くの人と関わり、つながりを持つことが大切です。なぜなら、街づくりの仕事は、人命を支えるという責任を自覚しなければならないからです。橋やダム の構造にはどこに力がかかるのか。経済的な建造法と安全性は両立し、保証されているのか。周りの環境に配慮した設計になっているか。一つでも計算を誤ればそれらは崩壊し、最悪の場合、死傷者が出ます。こうしたことを学ぶ中で実感しましたが、入学当時、人と関わることは私の課題でした。元々内向的な性格で、初対面の人と話すことが苦手だったのです。そんな時、担任の先生の勧めでインターアクトクラブに入部。活動の中で多くの人と交流していくうちに、少しずつ自分に自信が持てるようになりました。この1年はクラブの一員として活動できる最後の年でした。多くの人の前に立つ機会をもらえたことで、貴重な経験を重ねることができました。この経験を夢の実現に向けて生かしていきたいと思います。



愛知県名古屋市在住。豊田工業高等専門学校環境都市工学科3年、同校 IAC 会員。2022-23 年度 IAC 国内派遣研修リーダー。趣味は切り絵、ジグソーパズル。

宮本会員、毎年桜の木を持ってきていただきありがとうございます。